

キャラクター名  
初瀬 緋花 (ハセ・ヒバナ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	FHエージェント	
	オプション			年齢	28歳	性別	女
覚醒	感染	衝動	憎悪		初期侵食率	34 %	
出自	義理の両親 (慕っていた育ての親)		経験	喪失 (義理の両親の喪失)		邂逅	欲望：保持

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	3	0	0			3	行動値	5
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	6
精神	1	0	0			1	戦闘移動	11
社会	2	0	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵		2	射撃	9	2	RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：	2	2
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フレイムリング	射撃	3r+9	-	LV+6		
火遁手裏剣	射撃	6r+9	-	9		コスト4、クリティカル8 (+コスト3で砂の加護、ダイス+1個)
火遁大手裏剣	射撃	7r+9	-	14		※100%以上コスト6 クリティカル7 (+コスト3で砂の加護、ダイス+2個)
		0				コスト7 ※ギガティックモードを使うなら範囲(選択)になる

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レネゲイドサポーター		5	0	-1	装備中、I/F外を使用した判定の達成値+2

所持品	
CR弾 (FHアイテム)	
レインボウアビリティ: 【感覚】	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
装着者 (アブリザール) ルカド	P	N		
旧友/春日 零治 (カスガレイジ)	P 傾倒	N 劣等感		
師匠/ガガガ・マカ・ガガガ	P 尊敬	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
最大財産P:	10	残り財産P:		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンソレイト/モルフェウス	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： クリティカル-LV								
ギガンティックモード	1	3	Xジャー	武器	範囲(選択)	白兵/射撃	-	
効果： 判定後に装備しているすべての武器破壊される								
フレイムリング	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 武器を作成する								
カスタマイズ	3	2	Xジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果： 判定ダイス+LV個								
サイコメトリー	1	2	Xジャー	-	-	情報	-	
効果： 判定のダイス+[LV+2]個								
炎の刃	1	2	Xジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果： 攻撃力+[LVx2]								
砂の加護	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 判定直前に使用。判定ダイス+LV個。1ラウンド1回。								
壁抜け	1	-	Xジャー	至近	自身	自動 (RC)		
効果： 壁などの障害物を無視して移動する								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

28歳女性。あるジャームに家族を襲われたが自分だけ生き残り、様々な経緯を経て復讐を完遂した。現在はFHエージェントとして大恩ある春日家へ忠義を誓っている。

人の話をちゃんと聞く良い子だが、思考能力や意思がよわよわなのでうまく利用されてしまうということもままある。最上位命令である「春日家からの指示」以外は、その障害とならない限りは敵だろうが味方だろうがあまり頓着しない。春日家同士で相反する指示を受けた場合は脳みそがバグる。最終的には「春日レイジが得をする/損をしない」方を選ぶ。

意思が弱いため、ジャームなどの覇気にあてられて暴走しやすい。暴走した場合、すでに終わっているはずの復讐がフラッシュバックし、目の前の敵を仇と誤認したまま攻撃してしまう。エルドラドのパーサーカーをイメージしてもらえば分かりやすいかもしれない。

コードネームは戦闘スタイルを見た他者が付けたものであり、本人は「ヒバナ」と自称している。ただ、コードネームそのものは気に入っている。ナイトオブファイヤーみたいな語感なので。一人称は私、二人称はあなた、基本的に丁寧語で言葉を荒げることは少ない。好きなものは打上花火とユーロ・ビート、嫌いなものは雨とジャーム。味覚に障害があり、特定の果物以外の味がわからない。栄養摂取にも少し難があるので、FH謹製栄養摂取サプリメントを常用している。

「私はヒバナ。以後、お見知りおきを」  
「一体全体、何がどうなっているんです？」  
「大恩ある友のため。犠牲になってください」  
「ジャーム…コロスベシ…ジャーム…コロスベシ…!!」

ゲオルグ・フォン・ヴォルズング：ヒバナの戦闘面の師匠。オーヴァードとして、ヒバナの能力に適した肉体の使い方、真っ向からの戦士ではなく暗殺者としての技術を指導してくれた。ヒバナの体の使い方の癖を見て「まるで忍者のようだ」と評した。彼自身が直接、ヒバナに連絡してくることは滅多にない。